

# 株主通信

## 第116期 中間事業報告

2025年4月1日から2025年9月30日まで

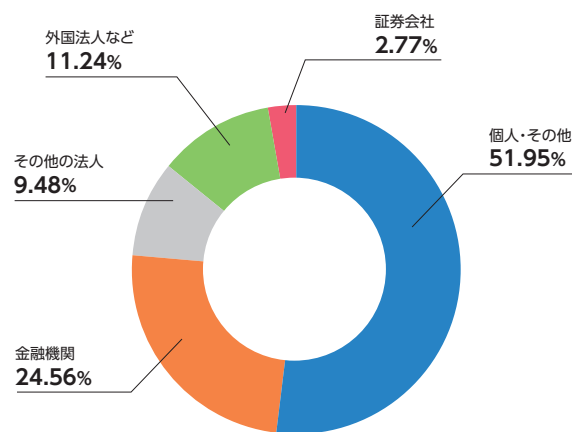


## 会社の概況 (2025年9月30日現在)

商号 株式会社北川鉄工所 (英文名: Kitagawa Corporation)  
本店所在地 広島県府中市元町77-1  
設立 1941年11月28日  
資本金 86億4千万円  
従業員数 2,234人 (単体: 1,416人)  
事業内容 工作機器事業、産業機械事業、金属素形材事業、  
半導体関連事業

## 株式の所有者別状況

発行可能株式総数 普通株式 30,800,000株  
発行済株式の総数 普通株式 9,650,803株  
株主総数 9,600名  
株式の所有者別状況



## 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 毎年6月下旬

**剰余金の配当基準日** 期末配当 3月31日  
**配当金受領株主確定日** 中間配当 9月30日

**単元株式数** 100株

**株主名簿管理人および特別口座管理機関** みずほ信託銀行株式会社

**お問合せ先** 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 **0120-288-324** (通話料無料)  
※土・日・祝日を除く9:00～17:00  
  
電子提供制度専用ダイヤル  
0120-524-324 (通話料無料)  
※土・日・祝日を除く9:00～17:00

**公告方法** 当社ホームページにて電子公告しますが、やむをえない事由によって電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。

## 役員

|                |       |
|----------------|-------|
| 代表取締役 会長       | 北川 祐治 |
| 代表取締役 副会長      | 北川 宏  |
| 代表取締役 社長執行役員   | 岡野 帝男 |
| 社外取締役          | 西川三佐子 |
| 社外取締役          | 杉口 安弘 |
| 社外取締役(常勤監査等委員) | 野上 武志 |
| 社外取締役(監査等委員)   | 貝原 潤司 |
| 社外取締役(監査等委員)   | 平 浩介  |

## 大株主

| 株主名   | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                                 | 1,027   | 11.10   |
| 北川鉄工所みのり会   | 733     | 7.93    |
| 株式会社広島銀行  | 446     | 4.82    |
| INTERACTIVE BROKERS LLC<br>(常任代理人インタラクティブ・ブローカーズ証券株式会社) | 435     | 4.71    |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)                                      | 234     | 2.54    |
| 北川鉄工所自社株投資会   | 233     | 2.52    |
| みずほ信託銀行株式会社   | 230     | 2.49    |
| 秋元 利規   | 200     | 2.16    |
| 朝日生命保険相互会社  | 171     | 1.85    |
| 北川 祐治   | 143     | 1.55    |

(注) 1 当社は自己株式(398,662株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
2 持株比率は自己株式(398,662株)を控除して計算しております。  
3 北川祐治氏の持株数には、役員持株会を通じての保有分(1株未満切捨て)を含めております。

## 住所・氏名の変更、配当金の受領方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増請求等の手続きのご案内

株主様が口座を開設されている証券会社にお申出ください。なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社(左記のお問合せ先)にお申出ください。みずほ信託銀行国内本支店(トラストラウンジを除く)においてもお取扱いたします。

## 未払配当金の支払いに関するお問合せ先

みずほ信託銀行国内本支店にてお支払いいたします。また、みずほ銀行国内本支店にてお取次ぎのみ可能です。

## 株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)に関するお問合せ先

お取引の証券会社またはみずほ信託銀行(左記の電子提供制度専用ダイヤル)までお問合せください。

## 特別口座をご利用の株主様へ

特別口座に記録されている株式は、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買ができません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。お手続きについては、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行(左記のお問合せ先)にお問合せください。

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当中間連結会計期間における世界経済は、米国の通商政策や中国経済の減速、不安定な中東情勢などにより先行き不透明な状況が続きました。また、わが国経済も雇用・所得環境の改善等により個人消費は持ち直しの動きが見られましたが、物価の高止まりや急激な為替の変化など不確実性の高い状況が続きました。

このような経営環境下において、当社グループの売上高につきましては、金属素形材事業は受注量が減少したことで減収となりましたが、産業機械事業のコンクリートプラント事業が大きく増収となり、前年同期比で増加しました。営業利益につきましても、産業機械事業の収益性の改善、金属素形材事業におけるコスト低減活動や販売価格改定により前年同期比で増加しました。また、当社および当社タイ子会社において有形固定資産の売却が完了したため、親会社株主に帰属する中間純利益が前年同期比で大きく増加しました。

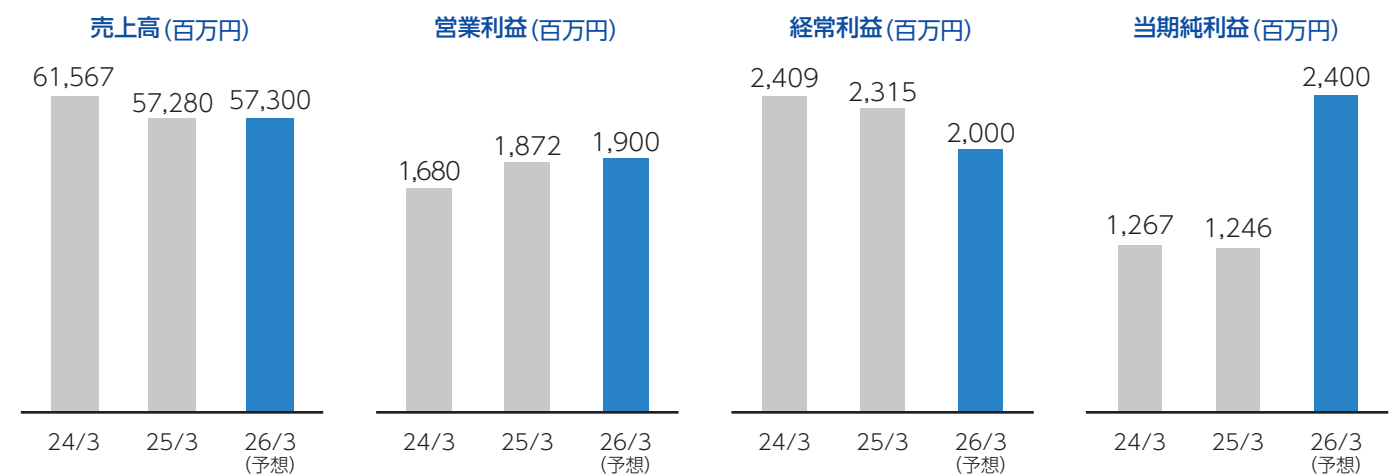
当中間期の配当金につきましては、1株当たり35円とさせていただきます。

株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員 岡野帝男



## 連結決算ハイライト



インターネット上で、いつでも最新のkitagawa情報をご覧ください

<https://www.kiw.co.jp/>



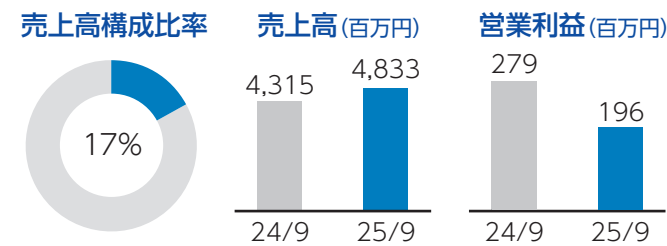


## 第2四半期（中間期）セグメント別の概況

### キタガワ グローバル ハンド カンパニー （工作機器事業）

工作機械業界は、内需は設備投資が依然として力強さを欠いていますが、外需はアジアを中心に堅調に推移しています。

当カンパニーの売上高につきましては、インドや中国等の海外受注が増え、4,833百万円（前年同期比12.0%増）の増収となりました。一方、セグメント利益（営業利益）につきましては、国内市場での受注量減少の影響に加え、工場移設に係る一時的な費用の発生等により196百万円（前年同期比29.6%減）となりました。



工作機器

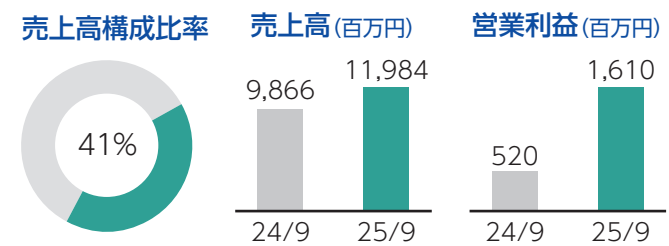


産業ロボット用機器

### キタガワ サン テック カンパニー （産業機械事業）

建設業界は、全体的に好調であり公共投資を中心に底堅く推移しています。

当カンパニーの売上高につきましては、コンクリートプラント事業のメンテナンス工事が順調に推移したことにより11,984百万円（前年同期比21.5%増）となりました。また、セグメント利益（営業利益）につきましても、コンクリートプラント事業の売上増加及び荷役機械事業の収益改善、自走式立体駐車場事業の収益の安定化により、1,610百万円（前年同期比209.4%増）となりました。



コンクリートプラント



荷役機械

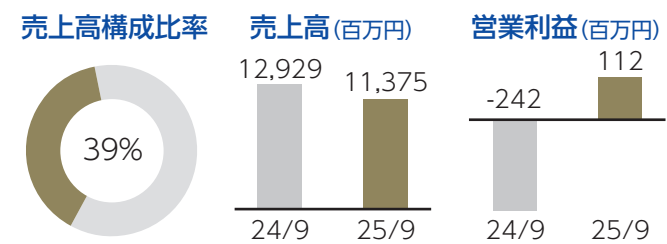


自走式立体駐車場

### キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー （金属素形材事業）

自動車業界は、米国の通商政策による影響を受けつつも、ICE・HV車両が一定の需要を維持しました。一方、農業機械・建設機械業界については欧米において依然として厳しい状況が続いています。

当カンパニーの売上高につきましては、自動車部品は一定の受注量を確保できましたが、農業機械・建設機械部品は市況の落ち込みにより安定した受注量を確保することができず、11,375百万円（前年同期比12.0%減）となりました。一方、セグメント利益（営業利益）につきましては、コスト低減活動や販売価格改定により収益確保に努めたことで、112百万円（前年同期セグメント損失（営業損失）242百万円）となりました。



建設機械部品

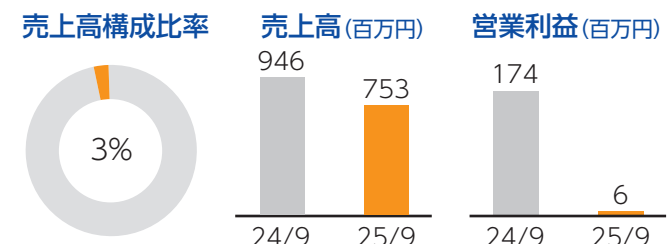


農業機械部品

### 北川グレストック等 （半導体事業関連）

半導体業界は、AI関連向けの設備投資が堅調であり順調に推移しております。

当事業セグメントの売上高につきましては、連結子会社である北川グレストック(株)において、消耗品の販売や半導体関連の受託加工が好調なAI関連の設備投資を背景に底堅く推移しましたが、ハードディスク製造装置の大型案件が前期で完了したことで753百万円（前年同期比20.4%減）となりました。また、セグメント利益（営業利益）につきましては、今後の事業拡大に向けた開発投資の増加等の影響により、6百万円（前年同期比96.2%減）となりました。



ハードディスク研磨装置



半導体CMP装置

## トピックス

### カーボンニュートラルを目指して、太陽光発電設備を導入

当社では、カーボンニュートラルに向けた取り組みとして、太陽光発電設備の導入を進めています。中期経営計画2027に掲げた設置目標を、オンサイトPPAモデル（注）により達成しました。

全社で発電設置容量2,284kW/11,040㎡、年間発電量2,380千kWh、年間約1,207t-CO<sub>2</sub>排出量を削減する効果が見込まれます。

当社は、“地域との共生”×“世界との共生”により持続的な成長の実現を目指しています。ものづくりの最前線を熟知した目で自身をみつめ、サステナブルに社会と共生する企業の姿を求めつつ世界基準の成長実現へと挑み続けていきます。



福山工場／福山市（2022年4月稼働）

（注）オンサイトPPA（Power Purchase Agreement:電力販売契約）モデル

PPA事業者が需要家の敷地内（建物の屋根など）に、太陽光発電設備を設置・所有し、発電した電力を需要家が購入するビジネスモデル



本社工場／広島県府中市  
（2025年6月全稼働）



甲山工場／広島県世羅町  
（2023年7月稼働）



東京工場／さいたま市北区  
（2023年3月稼働）

### キタガワ グローバル ハンド カンパニー 注目製品 脆性ワーク把握用「VSPチャック」

脆性ワーク把握用チャックとは、ガラス、セラミックス、ウェハー、薄いアルミなどの脆性（もろい）材料から作られたワーク（加工対象物）を、破損や歪みなどを生じさせずに安全・確実に把握（つかむ、固定）するために特別に設計された製品です。

例えば、3本爪のスクロールチャックなどは一点に強い圧力が集中するため、脆性ワークを固定する際に破損や歪みの原因となります。従来は熟練した職人の技による緻密な調整に頼ってきましたが、そのような技術は継承しづらく、定量化・自動化も困難です。これらの課題を解決するために、自動で極めて低い把握力を安定して発揮するべく「VSPチャック」を開発しました。

VSPチャックの最大把握力は18kNで、当社の同サイズのチャックと比較した場合、約1/15の把握力になります。また、特殊処理を施したことにより、100万回の把握後でも把握力を一定に維持できます。その他にも防塵防水性を高め、またグリース供給が一切不要になるなど省メンテナンスを実現しました。

